

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	第3回伊那北駅周辺再生ワーキンググループ（WG）			
開催日	2024年10月25日(金)			
開催時間	開会	18：30	閉会	21：00
開催場所	伊那市役所 304 会議室			
出席者				
協議会・WGメンバー	田畑和輝氏、高橋明星氏、須永次郎氏、笠井成樹氏、北原俊文氏			
事務局・職員	建設部：原（都市整備課長）			
関係者	—			
欠席者	—			
議事	1、伊那北駅整備スケジュールについて 2、伊那北駅周辺整備 WG の取り組み内容について 3、優建事業とのかかわり方について 4、WG 全体会までの宿題 5、質疑、疑義等			

議事項目	概要	次のステップ
1、伊那北駅周辺整備スケジュールについて（事務局説明）		
市の説明	○市から説明 ・伊那北駅周辺整備については、新校の統合方式にもよるが、同時に全ての事業が動き出すわけではない。 （※他事例参考では）①踏切→ ②駅舎→ ③仮ロータリー→ ④駅前広場→ ⑤周辺道路など 年単位で順番に進んでいくイメージを想定している。 ・優建事業については、具体的な事業計画を組み立てている段階と想像している。	
2、伊那北駅周辺整備 WG の取り組み内容について		
WG の進め方	○WG メンバー ・これまでの経過から、取り組みプロジェクトを3つに絞り、意思決定の担当分けをする。 - ー協議の結果、以下の通りー 1 駅前整備（須永、北原） 2 周辺まちづくり（田畑、高橋） 3 若者交流施設（田畑、笠井）	・次回の全体会にまでに、ゴールのイメージを持ち寄ることとする。 →須永 →田畑、高橋 →田畑、笠井

3、優建事業とのかかわりについて（事務局説明）		
市の説明・若者交流施設の考え方	○市から説明 ・事業主は、伊那市の将来や若者のために本気で考えている。機を見て対話の場を設ける意味も効果もあると考える。 ・市で設置を検討する「若者交流施設」はハード面では、内容、設置場所、規模が決定していないため、現状はソフト面で汎用可能な内容を詰めていく。	※若者ターゲットとする場合、須永氏も意思決定に加わる。
4、事業にかかわる質疑等		
WGが関連する質疑など	○市からの説明 ・ＪＲ東海との協議に、WGがかかわることは可能か →費用、技術的な点が多いため想定していない。 ・２つの新校開校後、乗降客があまりに増えたらどうなる（車両編成など） →（ＪＲ東海より）ダイヤ編成で十分対応可能。 ○WGメンバー ・Ｚ案件とは？ →地区で最も改修難な店舗を指す、リノベの起点、家賃のベースになる ・意思決定の考え方について →広い視点から考慮を、市施策の整合、市民納得のストーリーが欲しい。	